資料1

総合計画の中間年度見直しについて

令和7年12月

北広島市企画部企画課

中間見直しの背景・目的・手段

総合計画の中間見直しを行う

なぜ？ 背　景

- ✓ 総合計画は10か年の長期計画
- ✓ 必要に応じて中間年度で見直すことを計画に定めている
- ✓ 現計画は令和3年度から開始しており、令和7年度が中間年度にあたる
- ✓ 策定時から社会情勢や市を取り巻く状況は大きく変化している

何のため？ 目　的

- ✓ 計画の進捗状況を確認するため
- ✓ 社会経済情勢等の変化へ対応するため
- ✓ 長期計画をより実効性のあるものにするため
- ✓ 市民等とまちづくりの方向性を再確認するため

どのように？ 手　段

- ✓ **前期計画で得た成果と課題を整理**
- ✓ **市民参加手法を経て、行政のみの計画ではなく市民の想いを形に変える**
- ✓ **後期5年間の施策等の方向性を整理**
- ✓ **計画の実効性を高めることを主眼に、現行計画を全面改定ではなく重点調整**

これまでの経過

- これまで、総務常任委員会、総合計画推進委員会及び総合計画庁内推進会議において中間年度の見直しを検証・審議
- また、下記の市民参加手法も取り入れながら、計画の素案及び原案を作成
- 本日お示しする原案についてパブリックコメントを実施予定

【取り入れた市民参加手法】

1 市民意識調査

2 子ども会議

3 市民会議

4 まちづくり関係団体会議

5 パブリックコメント（未実施）

子ども会議

市民会議①

市民会議②

まちづくり関係団体会議

序　論【主な見直し箇所】

➢ 以下のとおり見直しを実施

項目	見直し内容等
1 計画の趣旨 （該当ページ:P8）	■ 「策定の趣旨」から「見直しの趣旨」へ記載内容を変更 ■ 「見直しの必要性」を追加した上、「社会経済情勢の変化」「ボールパークの開業」「前期5年間の成果と課題」の3点を追記
2 時代の潮流 （該当ページ:P9～11）	■ 令和2年時点で記載していたものに対し、令和7年時点における国が公表する計画、白書、調査結果を基に記載内容を変更 ■ これまでの項目に加え、「地域経済の変化」、「物価高騰による生活コストの上昇」及び「デジタル化と地域社会の変革」等について新たに追記
3 市の現状、市民意識 （該当ページ:P12～19）	■ 活用するデータとして、平成30年に実施した基礎調査と市民意識調査の結果から令和6年に実施した調査結果を基に情報を更新

ポイント

■ 時代の潮流や市の現状を踏まえ、後期5年間は、ボールパーク効果を中心に前期5年間で得た成果をさらに活かし、まちづくりのさまざまな分野へ波及効果を広げていく

基本構想【主な見直し箇所】

➢ 以下のとおり見直しを実施

項目	見直し内容等
5 将来目標人口 （該当ページ:P24）	■ 将来目標人口は 60,000人を維持（下方修正なし） ➢ 【理由】駅西口マンション開発、北海道医療大学移転などにより、居住増が見込まれるため ■ 人口動態・人口推計は 最新データで時点修正
8 地区のまちづくり （該当ページ:P27～37）	■ 各地区のまちづくり方針に都市マスとの整合を図り、以下を追記 ➢ 西部地区：国道36号沿線の土地利用検討を追記 ➢ 西の里地区：国道274号沿線の土地利用検討を追記 ➢ 大曲地区：胆振東部地震の復興記載を削除
9 施策体系 （該当ページ:P38～39）	■ 「スポーツ振興」を教育分野に限らず まちづくりへ活用するため、第5章第7節へ移行 ■ 第2章第2節「学校教育環境の整備」に「4. 教育機会の確保」を追加 ■ 北海道胆振東部地震の 復興が概ね完了したため、第3章第1節の施策 「1. 復興まちづくりの推進」を削除

ポイント

■ 基本構想は、令和3年度から12年度までの「まちづくりのテーマ」「めざす都市像」を定めた計画の根幹であることから、必要最低限の見直しに留める

基本計画【主な見直し箇所】

➢ 以下のとおり見直しを実施

項目	見直し内容等
3 地方創生2.0への対応 （該当ページ:P43）	■ 人口減少下でも地域が自立的に発展することを目指す国の「地方創生2.0」の方向性と併せてボールパーク構想や地域資源を活用し、持続的に発展するまちづくりの推進について記載。
4 中間年度の見直しにおける視点 （該当ページ:P43）	■ 市民意識調査等の各種調査や総合計画推進委員会等での審議を踏まえ、設定した7つの視点について記載
5 重点プロジェクト （該当ページ:P44～45）	■ 「人口増加プロジェクト」は継続し、以下の内容を追加 ➢子育て支援の充実：相談体制の強化 ➢学校教育の充実：ICTを活用した教育の推進 ➢観光の振興：ボールパーク開業に伴う市内の周遊の促進とにぎわいの創出
6 分野別計画（施策体系） （該当ページ:P46～131）	■ 1～2章：子育て相談体制の強化、子ども医療費助成の拡大、教育DXの推進、みらい塾やレク森のあり方検討、芸文ホールの大規模改修等
	■ 3～4章：救急DXの推進、新駅及び周辺施設の整備、持続可能な公共交通網の構築、ウォーターPPPの導入可能性の検討、ゼロカーボン推進の各種取組やヒグマ対策等
	■ 5～6章：多文化共生、スポーツによるまちづくりの推進、公共施設の包括管理等の導入可能性の検討等

ポイント

■ 基本構想に定めるまちづくりのテーマやめざす都市像の実現に向け、見直しで定めた基本計画の施策や視点に基づき、推進計画の事務事業を推進する

今後の予定

令和7年12月	総合計画庁内推進会議、庁議 第4回定例会総務常任委員会にて報告 パブリックコメントの実施（～令和8年1月）
令和8年2月	パブリックコメントの結果公表
令和8年3月	庁議において見直し版の決定 第1回定例会総務常任委員会にて報告・審議